

世界科学アカデミー会議について（結果）

Conference of the World's Scientific Academies

（通称 インターアカデミーパネル 2000 年会議（IAP2000））

1. 日 時 平成 12（2000）年 5 月 15 日（月）～18 日（木）
2. 場 所 東京都（東京国際フォーラム）
3. 主 催 インターアカデミーパネル（InterAcademy Panel: IAP）
4. 主催機関 日本学術会議
5. 参加者等 54 カ国 169 名
IAP 加盟 84 科学アカデミー中 55 科学アカデミーが参加
6. 使用言語 英語
7. 会議の内容
 - (1) 21世紀において人類が実現しなければならない持続的発展への移行に向けて、人口や食糧、水、などに関する問題解決のために科学は何をなすべきか、また、なし得るかを討議
 - (2) アマルティア・セン教授（厚生経済学への貢献により1998年ノーベル経済学賞受賞）の基調講演など、著名な科学者が多数参加
 - (3) 今後人類が進むべき道を提言するため宣言を発表
「21世紀における持続可能性への移行 科学技術の貢献」
（IAP加盟84科学アカデミー中 61科学アカデミー承認）

8. 会議の日程（平成12（2000）年5月）

	午 前	午 後	夜
14日(日)	-	登録受付	ソーシャル・ギャザリング
15日(月)	セッション1 (人口/健康)	セッション2(食糧)	基調講演、開会式、 ウェルカミングレセプション
16日(火)	セッション3(水)	セッション4(エネルギー)	-
17日(水)	セッション5(消費)	セッション6(知識/教育)	-
18日(木)	セッション7 (テーマ横断)	宣言、記者会見	フェアウェルレセプション

- ・ 天皇皇后両陛下は、15日（月）に開会式・日本学術会議会長主催ウェルカミングレセプションへ御臨席された。また、開会式には、内閣総理大臣、国連事務総長、日本学士院院長からメッセージが寄せられた。
- ・ 内閣総理大臣主催フェアウェルレセプションが、18日（木）にホテルニューオータニで開催された。

注: インターアカデミーパネル (IAP)

URL: <http://www.nas.edu/iap>

(1) 概要

ア 1995年に世界のアカデミーのフォーラムとして設立。84ヶ国・地域等の科学アカデミー等が加盟。事務局は、全米科学アカデミーに設置

イ 共同委員長

- ・ F.シャーウッド・ローランド教授 (全米科学アカデミー国際部長。オゾン層の形成と破壊のメカニズムに関する研究により1995年ノーベル化学賞受賞)
- ・ P.N.タンドン博士 (インド国立科学アカデミー元会長)

上記の事務局及び共同委員長2名は世界科学アカデミー会議開催時点でのもの。

(2) 目的

ア 国際問題について科学的側面から勧告や情報を政府・国際機関に提供

イ 世界的な学術協力を通じて、各国が直面する重要な課題解決に貢献するためのアカデミーの能力を育成

参考 世界科学アカデミー会議の様子は、インターネットにて提供されている。

URL: <http://interacademies.net/> (全米科学アカデミーによる。英語。)

